



2024年3月期 通期決算説明

2024年5月15日

Eyes to the all machines

- 前年比で、**売上48%成長**（4.9億円）、**調整後営業赤字¹21%縮小**（4.2億円）
／**経常赤字87%縮小**（0.5億円）で着地
- 「**成長の二本柱**」として注力する成長戦略の実績が出始めている
 - A 顧客製品化**： 案件の伸長とその後の製品販売の拡大によって事業が進捗
 - **顧客製品化は累計8件**へと伸長し、**ドローン・自動運転**などへ領域が拡大
 - 刈り取りとして**製品関連売上²は前年比40倍**（2.7億円）を達成
 - B ソリューション化**： 事業基盤を構築し、**デジタルツインのソリューション導入方針をパートナーと協議・合意**

¹ 営業利益（損失）に毎期経常的に発生する政府からの研究開発補助金収入を加えた、事業収益性の指標となる利益数値

² 当社技術を利用した製品実用化（製品販売や社内外のサービス運用）が可能な契約による売上

— 継続して「**成長の二本柱**」の成長戦略は注力

A 顧客製品化： 「呼び水」となる製品向けパッケージも寄与し、**案件伸長が加速**

B ソリューション化： エコシステム連携を進め、**ロボット・自動運転へも領域拡大**

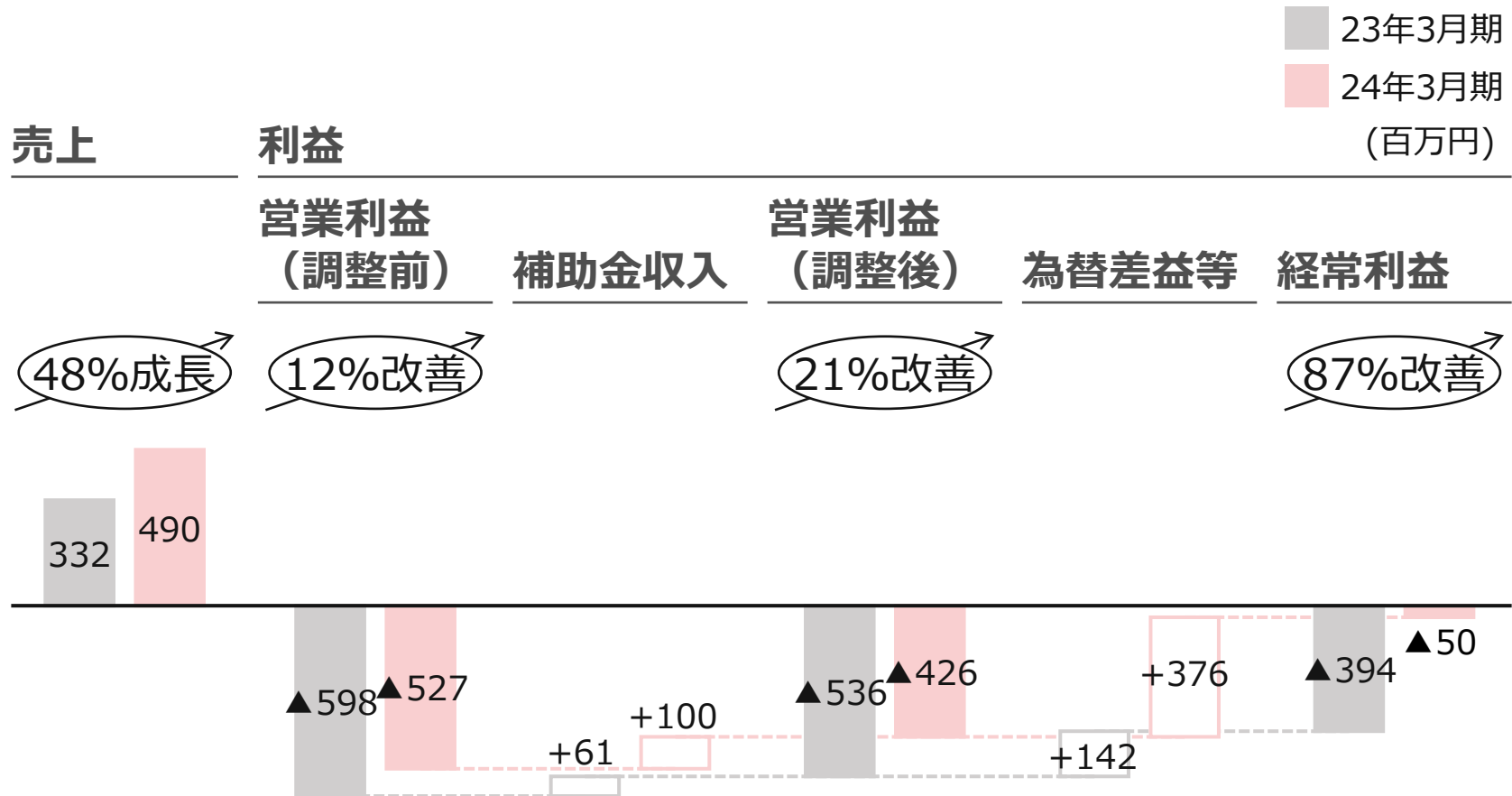
— 加えて、「成長の二本柱」を**下支えする取り組みも展開**

C AI・半導体との融合： 革新的手法で**3D・空間情報処理の根本課題を解決**、**Kudanの人工知覚が、人工知能・半導体と三位一体となる技術基盤**を目指す

— 今期は、**売上7億円**（前年比43%成長）、**調整後営業赤字3.5億円**（前年比18%縮小）を見込む

2024年3月期 通期業績（前年比）

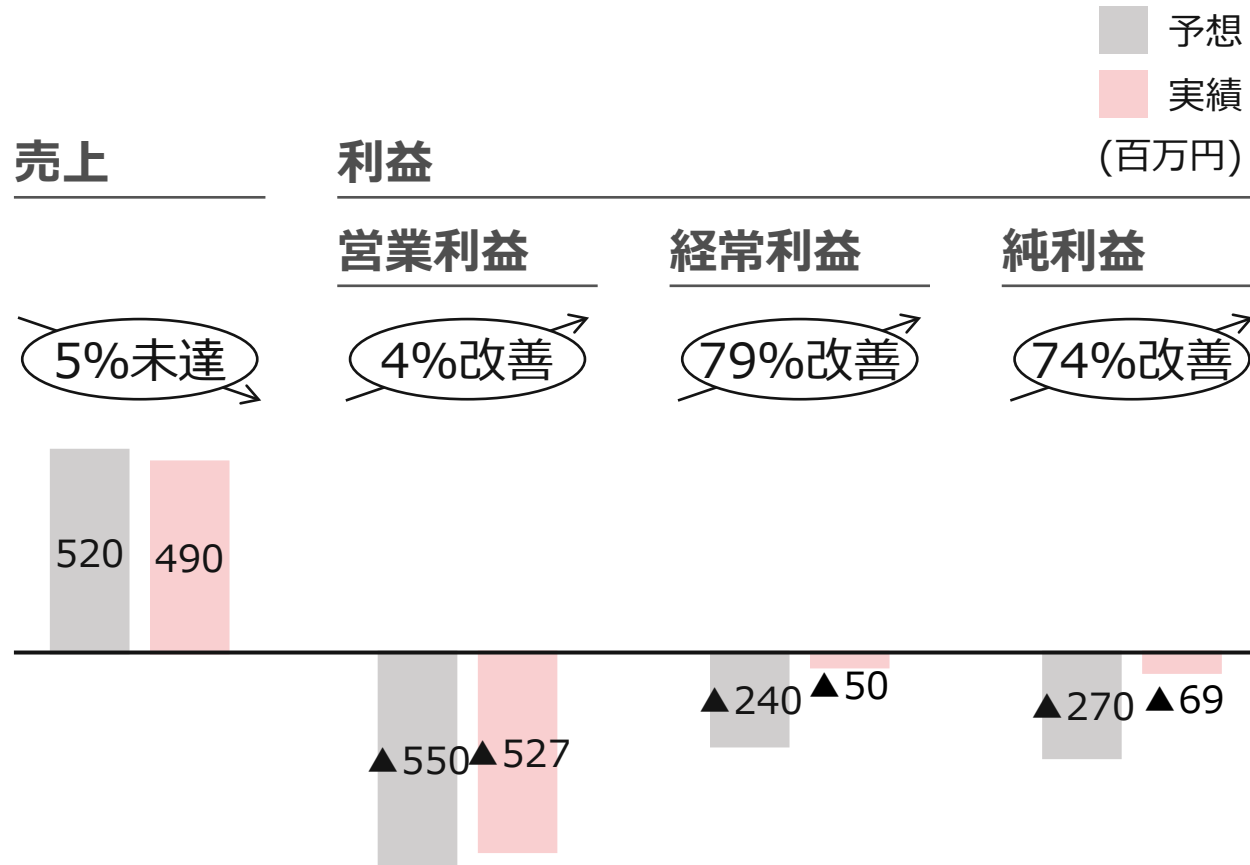
- 売上が大幅成長、営業赤字も改善
- 毎期発生する補助金収入¹を含み、事業収益性の指標となる調整後営業利益は改善
- 加えて、為替差益を含む経常利益は大幅改善



1 海外政府からの研究開発に対する補助金

2024年3月期 通期業績（予想比）

— 売上が僅かに未達も、収益性の向上により利益指標は全て予想から上振れ



2024年3月期 通期業績（一覽）

(百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	2024年3月期 実績
売上高	332	520	490
営業利益	△598	△550	△527
経常利益	△394	△240	△50
親会社株主に帰属する 当期純利益	△413	△270	△69
(参考) 調整後営業利益 ¹	△536	△451	△426

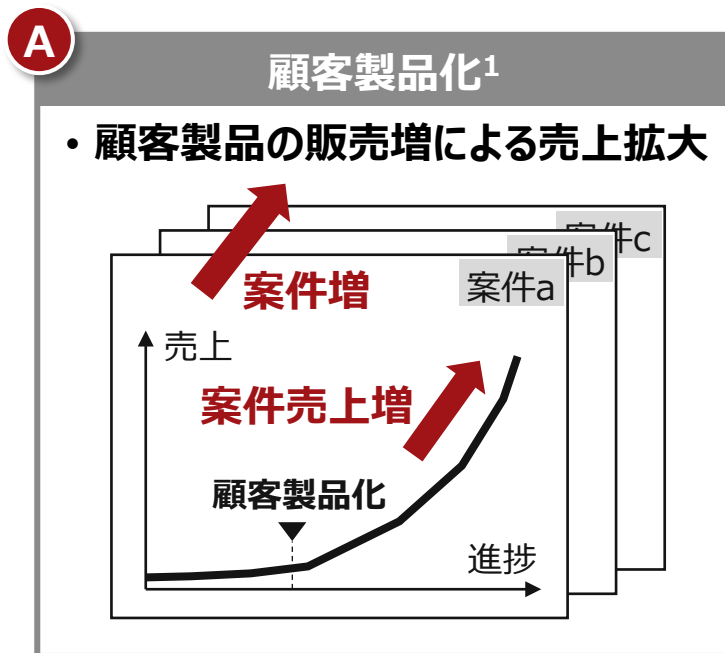
1 営業利益（損失）に毎期経常的に発生する政府からの研究開発補助金収入を加えた、事業収益性の指標となる利益数値

2 営業外・特別損益の主な内訳（百万円）：（23/3期）為替差益146、補助金収入61、減損損失20（24/3期）為替差益384、補助金収入100、減損損失18

「成長の二本柱」に加えて、下支えする取り組みにも注力

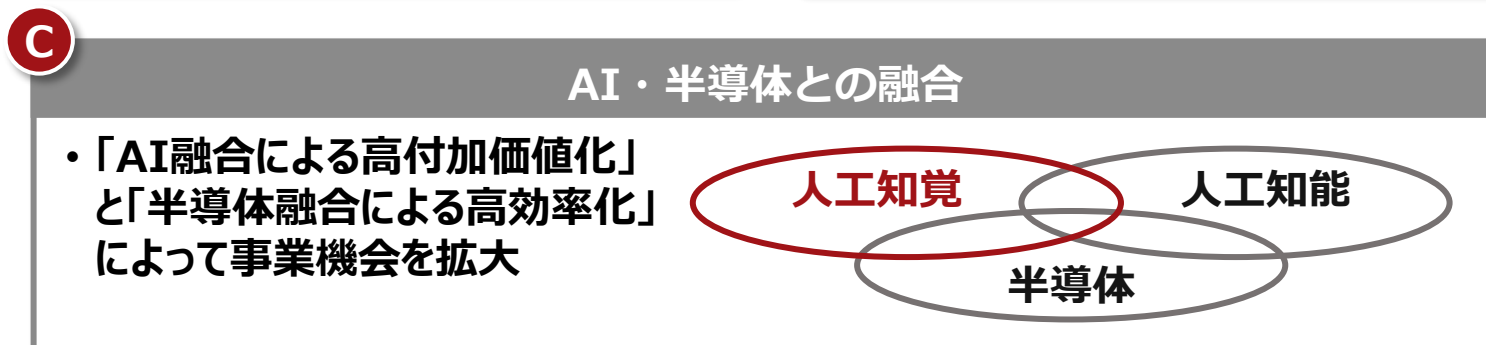
継続

成長の二本柱



新規

下支えする
取り組み

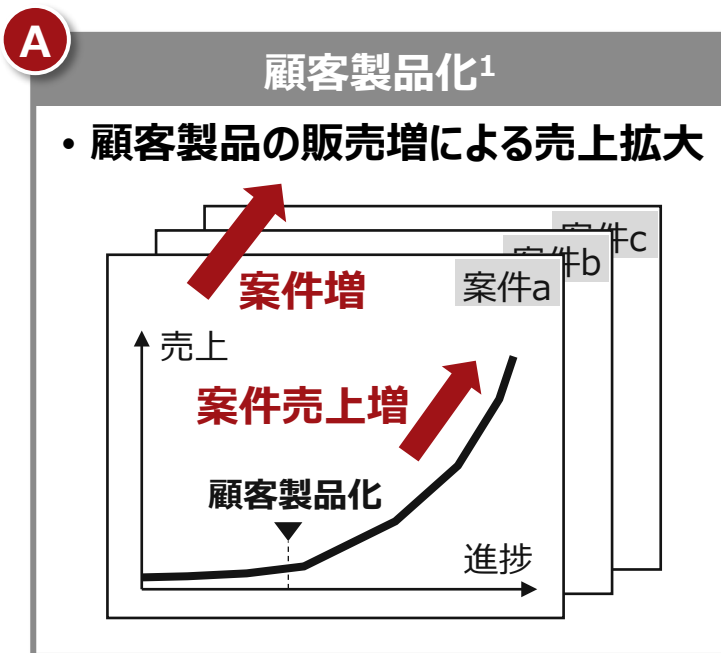


1 当社の直接顧客が当社技術を製品に採用し、その顧客製品のリリースが決定される案件の転換点

「成長の二本柱」に加えて、下支えする取り組みにも注力

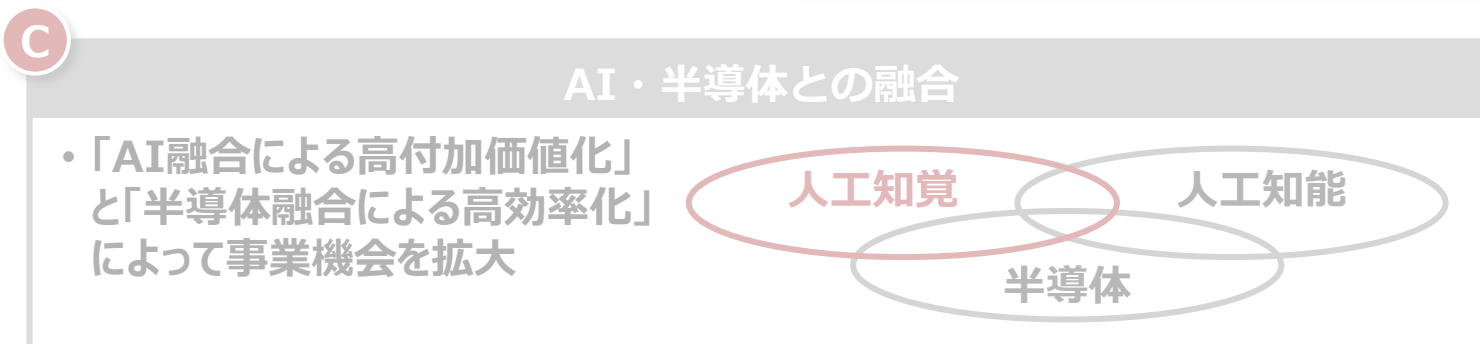
継続

成長の二本柱



新規

下支えする
取り組み



1 当社の直接顧客が当社技術を製品に採用し、その顧客製品のリリースが決定される案件の転換点

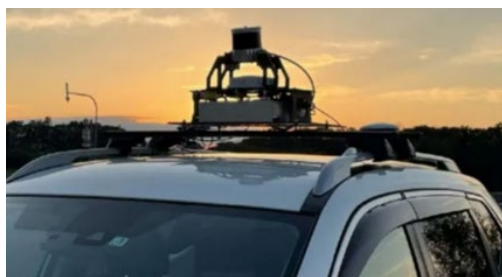
ロボット用製品向けパッケージを投入し、仕込み案件が増加

- 顧客製品化に向けた「呼び水」として、デジタルツイン用に続き、ロボット用²にも製品向けパッケージ¹を導入し、案件が増加

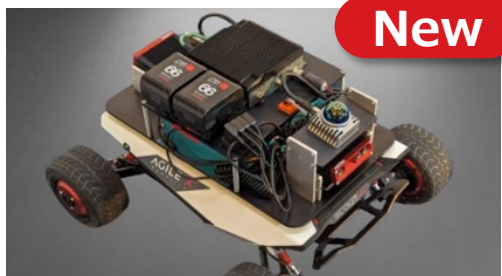
「呼び水」となる 製品向けパッケージの導入

デジタル
ツイン
(マッピング)

- 23/3期3Qに市場投入



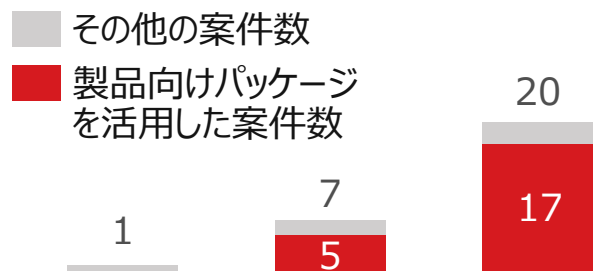
- 24/3期4Qに市場投入



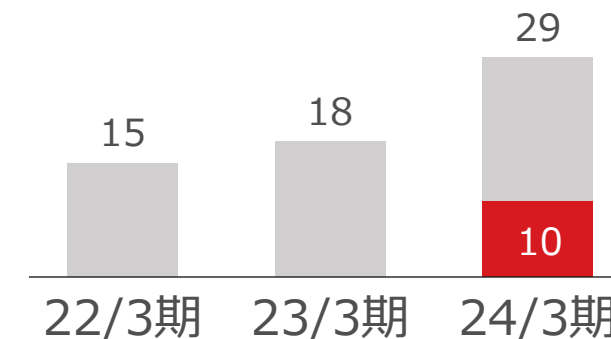
ロボット²

各領域における案件数の増加

- 案件増に大きく寄与した実績



- 今後の案件数増加を見込む



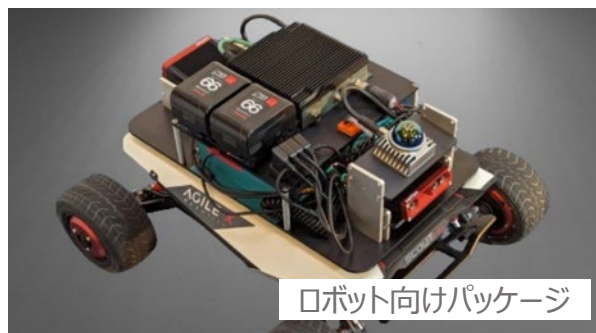
1 顧客製品の開発・試験運用の期間を短縮し、直接製品として実用化も可能なパッケージ

2 ドローンや自動運転を含む広義のロボティクス

仕込みの開発フェーズにおいても、「案件の質」が向上

- 製品向けパッケージの活用に加えて、領域横断的な知見の蓄積により、開発案件の効率が大幅に改善

製品向けパッケージが実装サンプルとなり、実装支援力が向上



開発支援コスト低減²
(▲24%)

開発リードタイム短縮³
(▲37%)

領域横断的な技術手法による知見¹が蓄積し、効果な支援を実現



1 センサ選択・融合の手法やパラメータチューニングなど、領域横断で応用可能な知見が蓄積し、成功・失敗事例の横展開などが効果的に実現可能となっている
 2 案件あたりにかかる支援工数 (23/3期に対する24/3期の比較)
 3 案件あたりにかかる開発リードタイム (23/3期に対する24/3期の比較)

結果、顧客製品化が領域を拡大して進捗し、今期は大きく伸長

- 前期は**新規4件**（累積8件）ながらも、**ドローンや自動運転へ領域拡大が進む**
- 今期は**全領域での案件進捗**と、**大幅な新規案件の増加を見込む**

顧客製品化の案件拡大の状況

	23年3月期	24年3月期	25年3月期	
デジタルツイン	UCS	Dates Metron	Coming soon	
ドローン		Inertial Lab		
		Avestec ²		
		日系ドローン企業		
ロボット ¹	Intel		Coming soon	Coming soon
	Movel AI		Coming soon	Coming soon
	Whale Dynamic ³			
ドローン		Avestec ²		
自動運転		Whale Dynamic ³		

1 ドローンや自動運転を含む広義のロボティクス

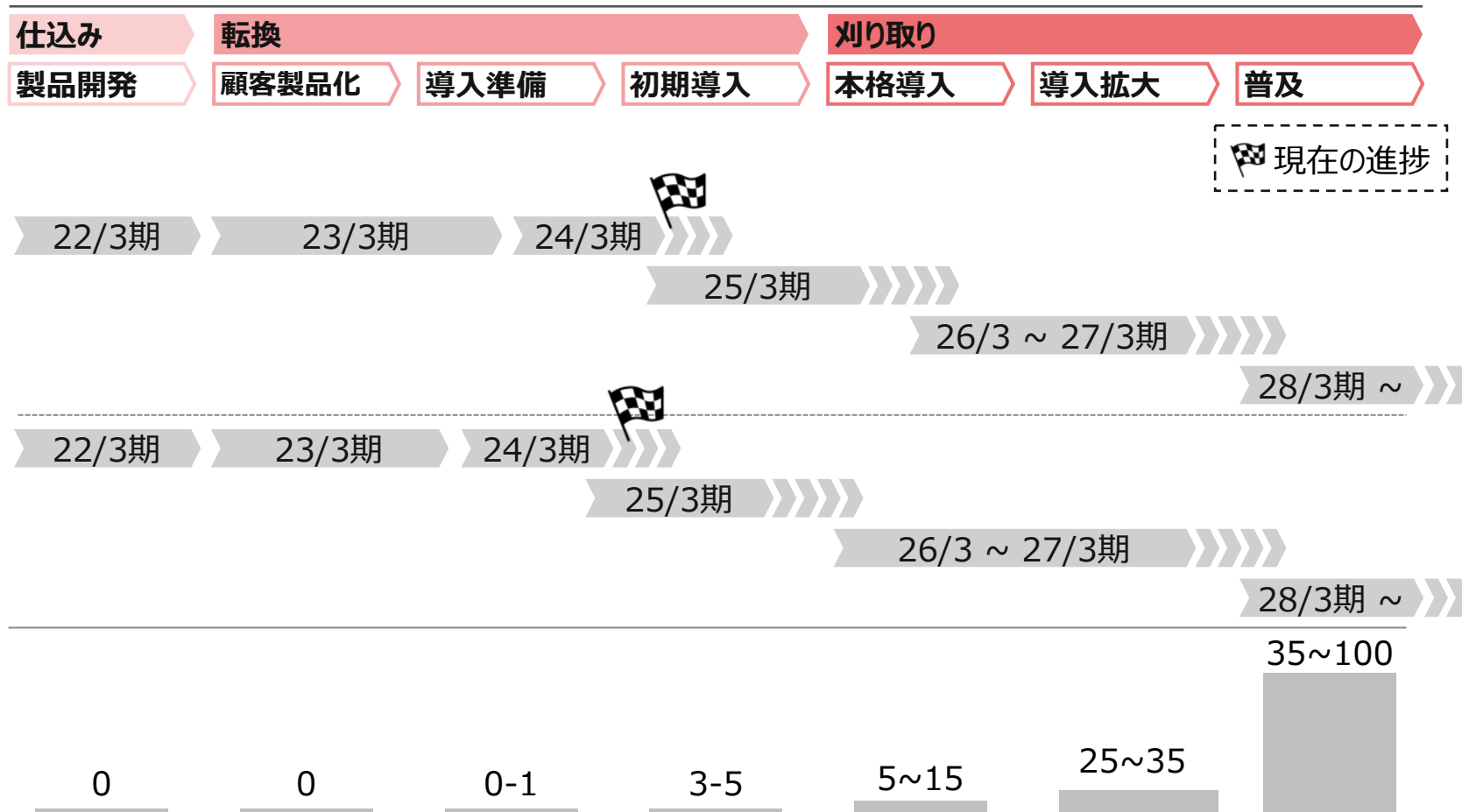
2 マッピング機能（点群生成）とロボティクス用途（自律飛行）の双方を実装

3 24年3月期に自動運转向け用途へ実装を拡大

成長に向けた事業進捗状況（短・中期）

- 今期の製品関連売上は最大50%成長（2.5~4億円）の見込み
- 顧客製品の導入・普及による製品関連売上の拡大を目指し、顧客製品の進捗段階を指標として、それを加速させる施策を今後も戦略的に推し進めていく

顧客製品の進捗段階に伴う事業拡大

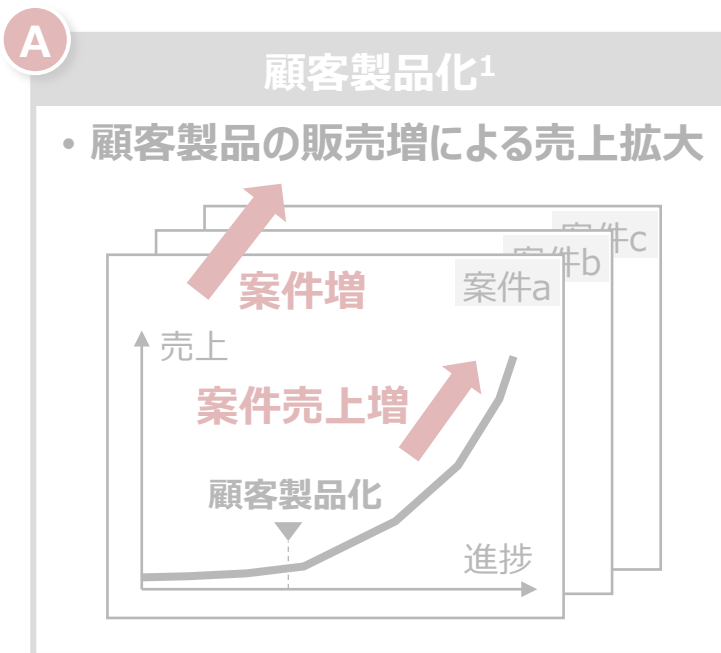


1 ドローンや自動運転を含む広義のロボティクス

「成長の二本柱」に加えて、下支えする取り組みにも注力

継続

成長の二本柱



新規

下支えする
取り組み



1 当社の直接顧客が当社技術を製品に採用し、その顧客製品のリリースが決定される案件の転換点

前期、デジタルツイン領域で、深層技術をソリューション化

- Kudanの空間認識技術を、設備・インフラ管理DX向けに、最終顧客用のソリューションに構築し、案件規模を拡大

世界各国のDX国策の後押しにより
デジタルツインの需要が拡大

エネルギー設備管理



インフラ管理



建築測量



街路樹・緑地登記



あらゆるアセットのデジタル化からデータベース管理までの統合
ソリューション「DAMS」¹をパートナーと構築²

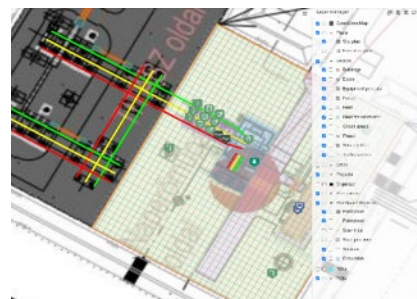
マッピング機器・スキャン



点群による3Dデータ化



情報付与・データ管理



期待できるインパクト

- データ収集効率：10~20倍
- データ利用効率：2~5倍
- イノベーションの実現
 - 管理できるアセットの拡大
 - 情報共有による新規事業
 - 作業の分散化、など

¹ アセットとは管理が必要となるあらゆる設備・建造物を意味し、DAMS（デジタル・アセット・マネジメント・ソリューション）は、そのアセットの管理運用をデジタル化することが可能

² システム統合、データ管理、サーベイ、アプリケーション開発、など計10社+と協業体制を構築し、ソリューションを開発・提供

欧州の新エネルギー設備管理向けの案件受注・合意が伸長中

— 社会的・公共的に勢いづく投資トレンドを追い風に、太陽光インフラ管理案件が進捗

欧州における新エネルギー向け設備管理案件伸長への追い風

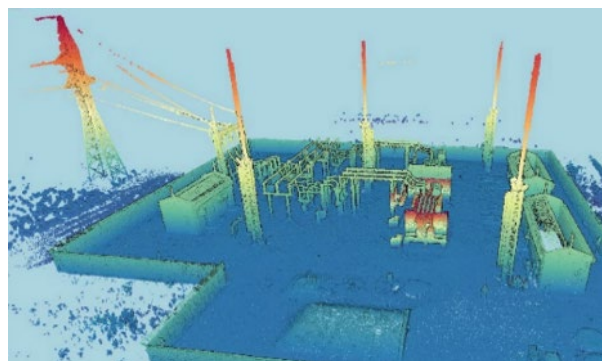
脱炭素シフトの加速
• 欧州グリーンディール¹等、産業・公共セクターへの脱炭素投資が拡大

脱ロシア産天然ガスの動きが急進
• 安全保障施策が、新規エネルギー設備投資をさらに後押し

Kudanが政府公共案件と連携
• ドイツ交通・デジタルインフラ省と欧州地域でのDX化に向けて連携を開始

ソリューション案件立ち上がり

受注済みの太陽光発電インフラ (送電網・変電所)



案件大型化（ギガW級インフラ）に向けて方針合意も、公共案件の調整による遅延により、前期から今期以降に大型案件受注はずれ込む²

¹ 2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指し、官民で年40兆円の投資が提示されているEUのロードマップ
² 24年1月30日開示内「合計500メガワットの大規模太陽光発電所及びインフラ（100km超の送電網と約10の大規模変電所を含む）・現時点の合意済み案件のギガワット規模の大規模太陽光発電所及びインフラ（300km超の送電網と約30の大規模変電所を含む）への展開拡大」共に受注・事業開始は未了で、今期以降に遅延。

今期からロボット・自動運転領域でもソリューション化の取り組み

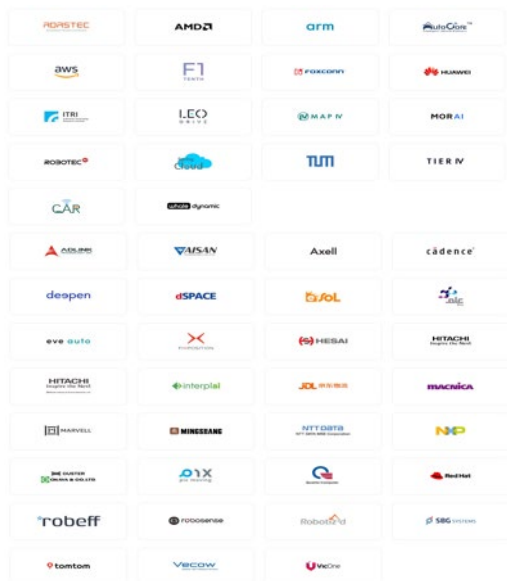
- エコシステム・連携拡大に対して、**公共案件多数を見込み、今期からソリューション化の取り組みに注力**

自動運转向けエコシステムへの参画¹



THE
AUTWARE
FOUNDATION

- オートウェア¹に加入
- 85社のパートナーからなるエコシステムに参入し、協業・技術提供を行う



日系自動運転企業との連携の開始



- 公共案件をはじめとして幅広く技術実装を今期から開始予定
- 広義の自動運転（屋外ロボティクス、物流、モビリティなど）のソリューション化を目指す

- 深層技術から最終顧客が利用できる自動運転ソリューションまで一貫して開発
- 最終市場需要の掘り起こしと、技術統合の開発速度を加速

¹ 現在は申請手続き中（合意済み）

「成長の二本柱」に加えて、下支えする取り組みにも注力

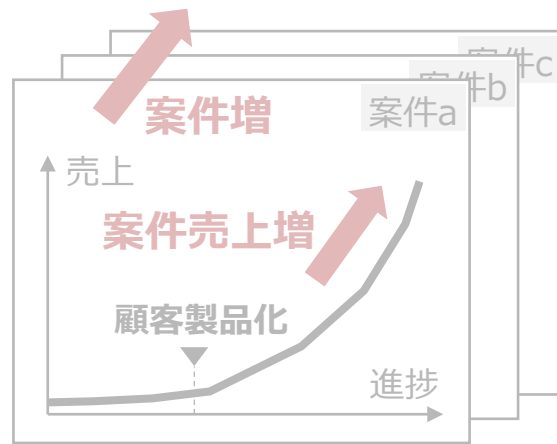
継続

成長の二本柱

A

顧客製品化¹

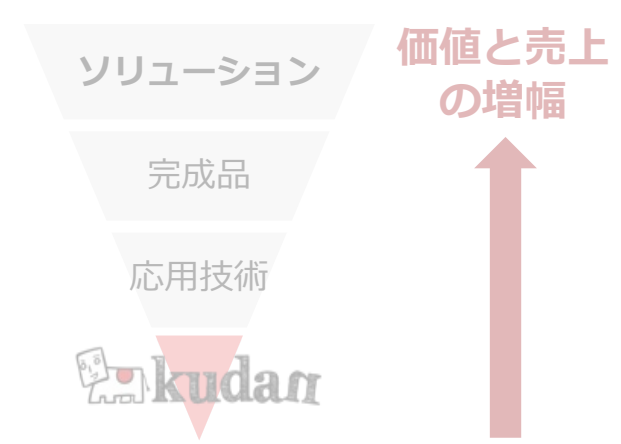
- 顧客製品の販売増による売上拡大



B

ソリューション化

- 協業による案件規模の大型化



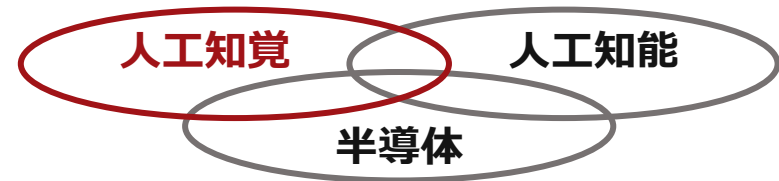
新規

下支えする
取り組み

C

AI・半導体との融合

- 「AI融合による高付加価値化」と「半導体融合による高効率化」によって事業機会を拡大



1 当社の直接顧客が当社技術を製品に採用し、その顧客製品のリリースが決定される案件の転換点

人工知覚と人工知能の融合による革新的な価値創出

– 3D空間情報処理の根本課題を解決し、あらゆる3D・空間DXに影響をもたらす



人工知能 (AI) の進化における課題

教師データ 進化の速度

言語・文章

豊富な教師データで発展し、
技術的に大きく先行

2D画像・動画

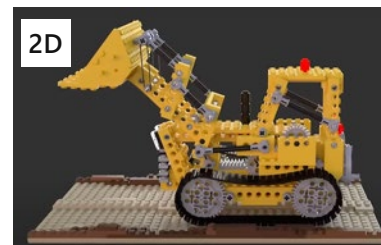
3D・空間データ

3Dの教師データは取得が困難、
技術的に大きく遅れをとる



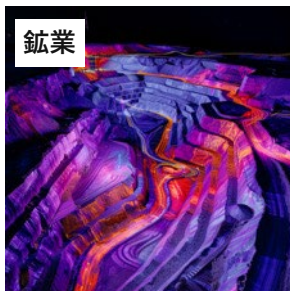
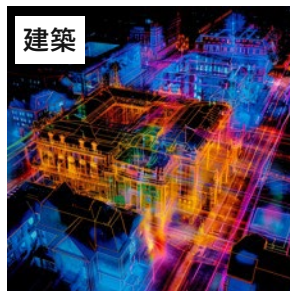
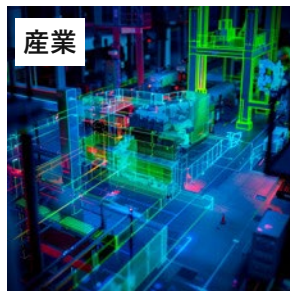
人工知覚 (AP) による解決策

2Dデータから3Dの教師データを生成することで、
3D・空間データのAI処理の課題を抜本解決



セマンティック・デジタルツイン (AIによって意味合いづけされたデジタルツイン) が3D・空間情報に関わる全てのDXソリューションに破壊的な価値をもたらす

大規模AIモデルによる空間デジタルツインの分析、生成AIによるメタバースの生成など



加えて半導体と融合し、処理効率を大幅に向上

- 人工知覚・人工知能・半導体が三位一体となる技術基盤をパートナーと目指す

技術が進む方向： アルゴリズムと半導体の融合¹

ソフトウェア
(人工知覚・人工知能)

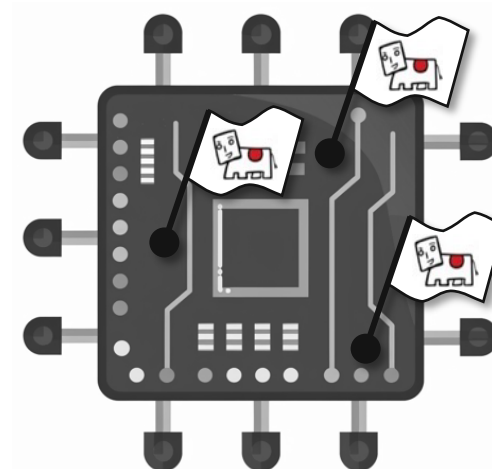


よく使われるプログラム
パターンを回路として
ハードウェア化する



有効な回路を最大
活用してプログラムを
再構築する

ハードウェア
(半導体)



参考：半導体パートナー抜粋

Qualcomm



cadence



SYNOPSYS

intel

一部案件抜粋

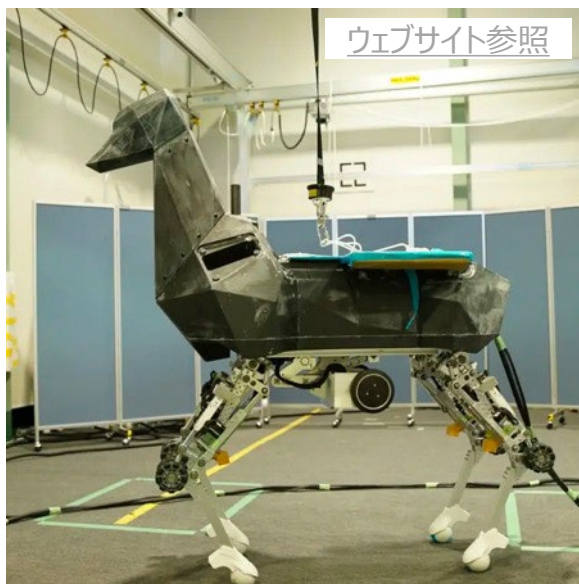
	顧客企業	案件概要	リリース
デジタル ツイン	 大手通信	スマートシティ向けデジタルツイン	
	 大手エネルギー	設備管理向けデジタルツイン	リンク参照
	 フィンランド農林省	森林管理・資源調査向けデジタルツイン	
	 大手総合電気	デジタルツイン向けマッピング機器	
	   マッピング関連多数	デジタルツイン向けモバイルマッピング機器	
ロボット	   ロボット関連多数	産業用自動搬送ロボット	Coming soon
	 ロボット関連	配送ロボット	Coming soon
	 大手重工	産業用屋外物流の自動化	
	 日系大手自動車メーカー	自動運転乗用車・ロボタクシーサービス	
	 日系大手自動車メーカー	プラットフォーム型自律移動モビリティ	リンク参照
	 EUSPA (欧州連合宇宙計画局)	GPS信号がない環境での自動運転	リンク参照
	 大手メディア	特殊撮影用ドローン	
	 川崎重工業	四足作業ロボット	リンク参照
	 米国航空宇宙関連機関	月面探査ロボット	Coming soon
	 ロボット関連	二足歩行ヒューマノイドの自律移動	

次ページ
詳細

- よりダイナミックな動きや、未知で複雑な環境にも挑戦し、**先進的かつ未来的なロボット分野への取り組みも拡大**

四足作業ロボット

川崎重工業



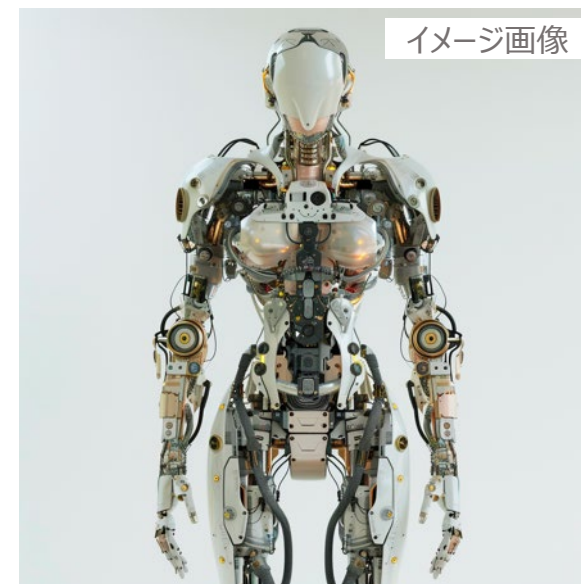
月面探索車両

米国航空宇宙関連機関



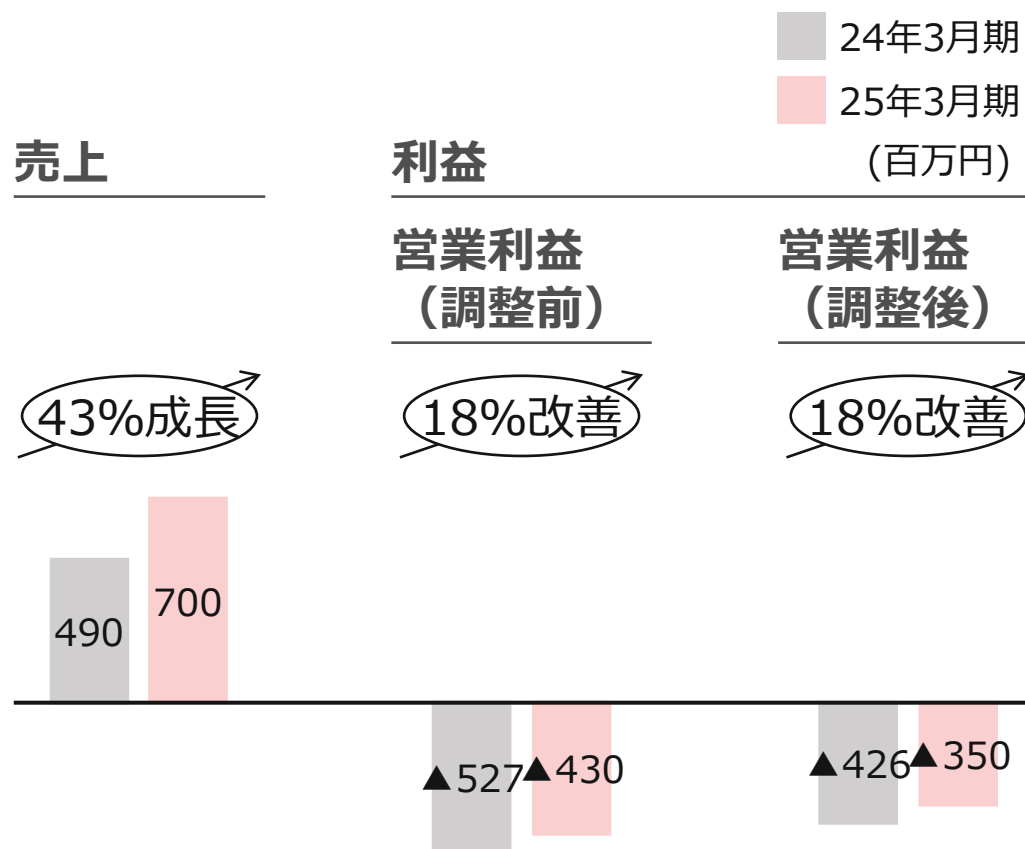
ヒューマノイド

米国ロボット関連企業



2025年3月期 業績予想

- 「成長の二本柱」となる **A** 顧客製品化、**B** ソリューション化 の進捗により売上成長
- 人材・開発投資も一定拡大するが、事業収益性の指標となる調整後営業利益¹を含めて利益は改善予定



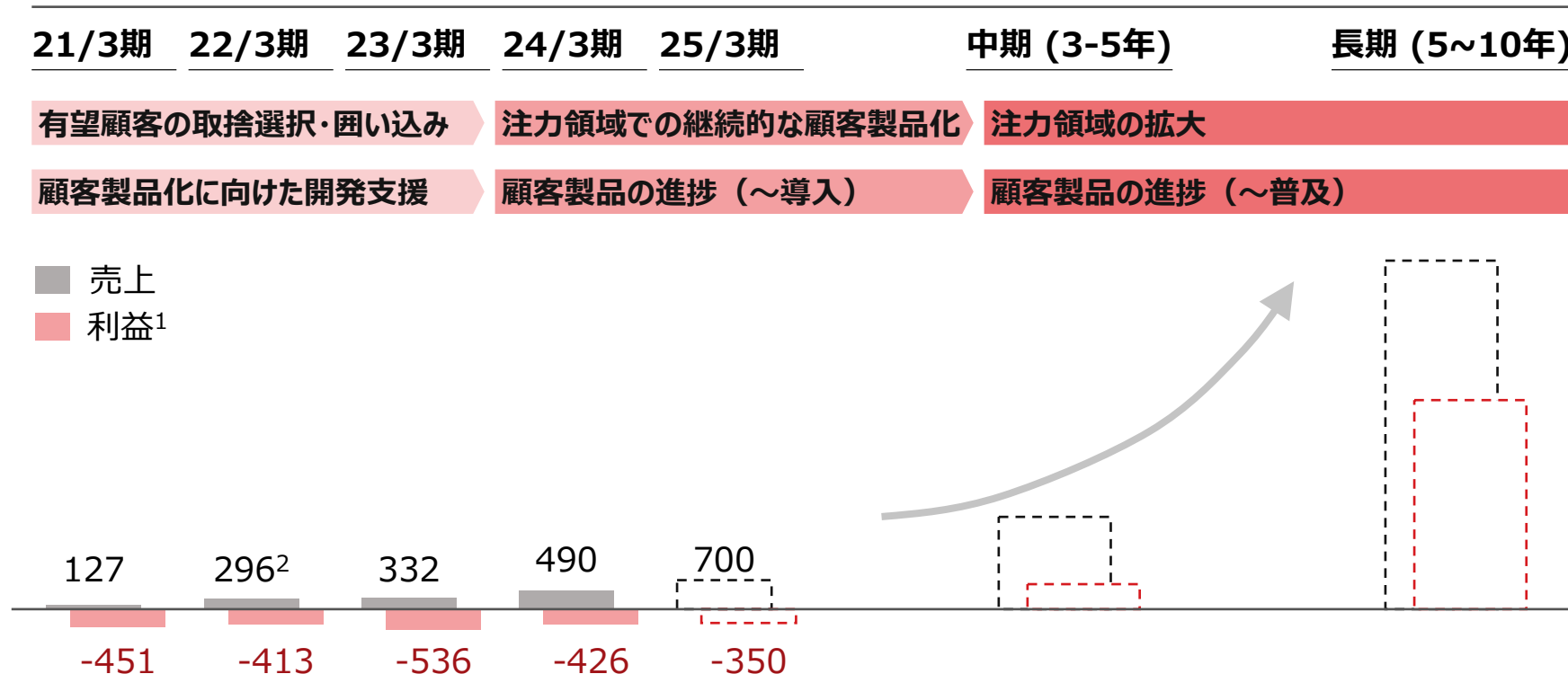
1 営業利益（損失）に毎期経常的に発生する政府からの研究開発補助金収入を加えた、事業収益性の指標となる利益数値

2 経常利益・純利益への影響が大きい為替差損益の予想が困難なため、経常利益・純利益の業績予想は非開示

今後の成長性（中長期）

- 継続的な顧客製品化と、顧客製品の進捗を押し進め、収益構造の転換を早期に実現する
- 注力領域の拡大、顧客製品の普及による技術の市場浸透により、製品関連売上を大きく積み上げて飛躍的な利益拡大を目指す

中長期の成長イメージ [百万円]



1. 調整後営業利益
2. 会計基準変更による影響調整後売上

- 本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。
- すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2024年5月15日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。